

日本フネン株式会社

【省エネ効果の高い歩行者用信号灯器(電球タイプ)の電球代替LED電球の開発・製品化及び普及拡大による地球温暖化対策への貢献】

功績

2012年までに国内での白熱電球の製造・販売が中止される中、歩行者用信号灯器用白熱電球の代替えとなる省エネ効果の高いLED電球の開発に期待が集まっています。日本フネンでは、県警察本部、県工業技術センターと共同で、歩行者用信号灯器LED電球を全国に先駆けて開発し、消費電力が白熱電球の約10分の1、寿命が従来の約10倍の4万時間、使用可能な歩行者信号器本体をそのまま活かし、ソケット含む電球を取り替えるだけで、LED信号機に替えることができるタイプを実用化しました。徳島県内では、平成22年3月末現在の歩行者用灯器は約5,600灯ですが、仮にすべてがLED化されると、県内では年間約850tのCO₂削減、年間約3,400万円の省エネ効果が期待できます。また全国約92万灯の歩行者用灯器がすべてLED化されると年間約12万5千tのCO₂削減、約51億円の省エネ効果が期待でき、安全・安心なまちづくりと同時に、温室効果ガス排出削減に貢献します。